

第2次富山市上下水道事業中長期ビジョン(案)の概要について

計画策定の趣旨

第1次ビジョン（平成19年度～28年度）

平成17年4月の1市4町2村の合併後、新富山市の上下水道事業のあるべき姿と目指す方向性を明らかにする必要

「富山市上下水道事業中長期ビジョン（第1次ビジョン）」を策定

施設整備・拡張を中心に事業を推進

- ① 水道事業では、流杉浄水場の改築（第1期事業）、簡易水道の上水道への統合、配水幹線及び老朽水道管の整備や地下水源の整備などによる水道水の安定供給
- ② 下水道事業では、未普及地区の解消による下水道人口普及率と整備率の向上、雨水幹線や雨水貯留施設の整備による浸水被害の軽減

第2次ビジョン（平成29年度～38年度）

大規模自然災害への対策の強化、施設の老朽化に伴う更新需要の増大、人口減少に伴う料金収入の減少などが予想されることから、さらなる経営の効率化、安定化を図る必要

「第2次富山市上下水道事業中長期ビジョン（第2次ビジョン）」を策定

維持管理を中心に事業を推進
（施設の耐震化や災害発生時の早期復旧に重点）

- ① 水道事業では、老朽基幹施設（浄水場・配水池等）の改良、配水幹線及び老朽水道管の整備による水道施設の耐震化、水質管理の充実や応急給水の充実
- ② 下水道事業では、施設（管渠・処理場）の改築等による長寿命化、消化ガス等の未利用エネルギーの有効活用、雨水幹線の整備等による浸水被害の軽減、防災対策の強化

上下水道事業の現状と課題

水道事業

- 水需要の減少
人口減少等による水需要の減少は、給水収益の減少となつて、経営へ大きな影響を及ぼすことが想定されます。
- 水道基幹施設等の老朽化
老朽化した基幹施設（浄水場・配水池等）や配水幹線の更新にあわせ、施設の耐震化を進める必要があります。
- 「安心・安全でおいしい水」の提供
水質管理体制の充実等を図る必要があります。
- 危機管理体制の強化
初動対応訓練の習熟や重要給水施設に接続する管路の耐震化などを図る必要があります。

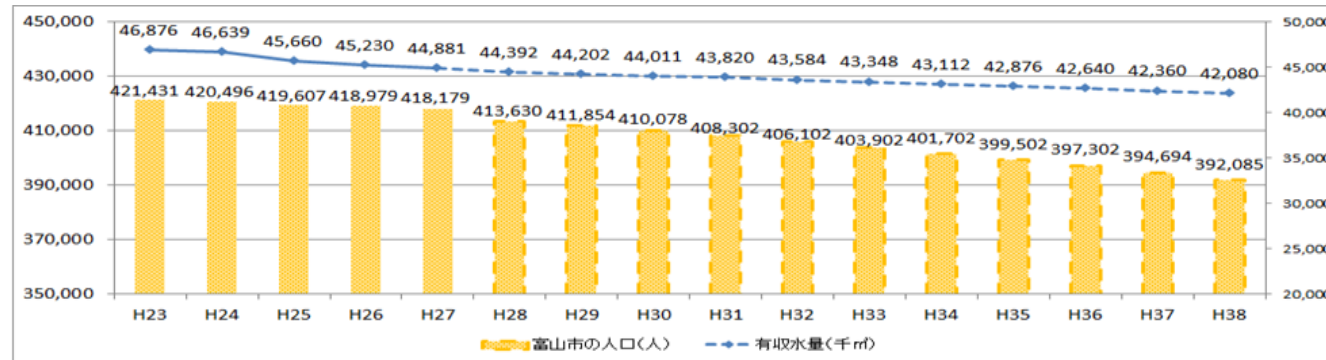
工業用水事業

- 施設の老朽化
給水開始から、朝日工業用水道は50年以上、流杉工業用水道は40年以上経過しており、いずれの施設も老朽化が顕著であり、対応を検討する必要があります。

公共下水道事業

- 公共下水道の整備・改築
都市化の進展に伴い集中的に整備した管渠等の更新や老朽化した処理施設の長寿命化を図る必要があります。
- 危機管理体制の強化
浸水被害の軽減を図るため、引き続き、雨水幹線等の整備を進めるとともに、河川水位上昇への対応強化や初動対応訓練の習熟を図る必要があります。

富山市の人口と有収水量（水道水）の推計



汚水処理施設（9か所）

処理施設名	供用開始年月	供用開始後の経過年数 （平成28年度末）
浜黒崎浄化センター	昭和54年4月	38年
水橋浄化センター	平成6年11月	22年
倉垣浄水園	平成5年3月	24年
大沢野浄化センター	平成4年4月	25年
大山下水処理場	昭和62年4月	30年
小見浄化センター	平成11年11月	17年
山田浄化センター	平成2年3月	27年
楡原浄化センター	平成16年3月	13年
南部地区浄化センター	平成18年4月	11年

基本理念

老朽施設の計画的な更新による耐震化や災害時等の初動体制の習熟を図ることにより、被災を最小限にとどめ、早期復旧ができる、強くしなやかな上下水道を構築し、市民の皆様が将来にわたり、安心して上下水道を利用できる基盤を固めます。第2次ビジョンの目的とあるべき姿を明らかにするため、次の基本理念を掲げます。

- 強くしなやかな上下水道を構築し、次世代へ安心を引き継ぎます。

基本理念に基づく経営方針

1 安心、安全でおいしい水を安定的に供給します。
(水道事業、工業用水道事業)

2 快適で衛生的な生活環境の充実に努めます。
(公共下水道事業)

3 持続可能な経営を実現するため、多様な経営手法を駆使して、経営の効率化、安定化を図ります。
(各事業共通)

経営方針ごとの具体的施策

① 基幹施設の整備

- ・流杉浄水場の改築
施設の規模や改築の実施時期等について検討を進めます。
- ・配水ブロックの整備
水量等に不安がある隣接するブロックの統合を進めます。
- ・老朽基幹施設の改良
更新にあわせて、施設の耐震化を進めます。
- ・工業用水道施設の更新の検討
大規模な施設更新には、料金の負担についてユーザー企業の理解が必要であることから、協議を重ねながら検討を進めます。

② 信頼性の高い配水システムの構築

- ・配水幹線の整備
口径350mm以上の配水幹線の計画的な更新により、耐震化を図ります。
- ・老朽水道管の整備
配水幹線以外の水道管についても、計画的に更新を進め、耐震化を図ります。

③ 水質管理の充実

水質検査に必要な機器を計画的に更新するほか、新たに検査精度の高い機器を導入するなど、水質検査体制の充実に努めます。
また、引き続き、水源の監視体制の強化に努めていきます。

④ 危機管理体制の強化

- ・防災機能の強化
浄水場や配水池等のインターネット回線による遠方監視の強化や災害時の早期復旧体制づくり等に取り組みます。
- ・応急給水の充実
医療機関や学校等の重要給水施設に接続する管路の更新(耐震化)を計画的に進めます。

① 公共下水道(汚水)の整備

- ・下水道施設(管渠・処理場)の改築
管渠や処理場等を計画的に改築することにあわせ、施設の耐震化を進めます。
- ・処理場における運転管理体制の充実
民間事業者の技術やノウハウ等を活用しながら、浜黒崎浄化センター等の運転管理体制の充実に努めます。
- ・資源の循環
汚水の処理工程で発生する消化ガスの活用等について検討を進めます。
- ・処理場の統廃合と再編
公共下水道や農業集落排水等の処理施設の合理的な再編について関係部局と検討を進めていきます。
- ・水洗化率の向上
- ・下水道整備困難地区の解消

② 公共下水道(雨水)の整備

- ・雨水幹線の整備
浸水履歴がある箇所や浸水被害が想定される箇所について、優先的に雨水幹線等の整備を進めます。
- ・合流式下水道の改善
松川の水質保全と浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設の整備とその効果的な運用を進めます。

③ 危機管理体制の強化

- ・防災対策の強化
河川水の雨水幹線への逆流に対する初動体制の強化や監視カメラを使った水門や雨水幹線の水位等の状況把握、雨水貯留施設の効率的な運用等に努めます。
また、災害発生時等の初動対応訓練等を積み重ねながら、早期に復旧することができる体制づくりに取り組みます。

① 人材の確保・育成

事業運営に必要な人員を確保し、知識や技能を着実に継承してまいります。

② 効率的な組織体制の構築・適正な人員配置

事業運営の効率化を図る一方、緊急時にも迅速な対応ができるよう、適正な人員配置に努めます。

③ 適正な給与水準の維持

引き続き、適正な給与水準の維持に努めます。

④ 民間資金・ノウハウの活用等

公共施設等運営権制度等の調査・研究を進めます。

⑤ 財政基盤の強化

- ・適正な料金体系の検討
将来に向けた料金の改定についても検討してまいります。
- ・企業債発行の適正な管理
将来に過度な財政負担を残すことがないように、適正な管理に努めます。
- ・収納率の維持・向上
- ・有収率の向上及び不明水の削減
- ・工事コストや維持管理費の縮減
施設の長寿命化、工事コストの抑制と整備後の維持管理費の縮減を図ります。

⑥ お客様サービスの向上

- ・インターネットを利用した水道の使用開始・中止の受付
- ・料金収納サービスの向上
- ・情報提供の充実
- ・施設見学の受入れ
- ・上下水道事業に係る意見交換会の開催
- ・上下水道事業に関するアンケート調査の実施
- ・「とやまの水」PR事業

⑦ 環境負荷の軽減に配慮した事業の推進

未利用エネルギー導入の可能性について調査・研究を進めます。

施設更新等の財源確保について

第2次ビジョンの期間においては、施設の老朽化に伴う更新や大規模自然災害に備えた対策等に多くの費用が必要である一方、人口減少に伴う料金収入の減少等が予想されることから、事業費の平準化を行うとともに、国の補助制度や企業債の活用により、財源を確保する必要があります。

これにあたり、中長期事業計画における投資・財政計画を作成し、計画的に事業を実施してまいります。

中長期事業計画における投資・財政計画

水道事業

給水収益の減少が見込まれ、収益的収支の黒字は、年々減少し、平成40年度以降は赤字に転じることが懸念されます。

建設改良事業については、毎年40億円前後の投資が必要となり、財源の確保が厳しい状況となります。

このことから、平成23年度から50%（平成22年度まで90%）に抑制してきた企業債の充当率を平成34年度からは、75%に上げる必要が生じます。

工業用水道事業

収入面では、責任水量制を採用しており、今後も、黒字を維持していくことが見込まれます。

大規模な施設の更新については、工業用水使用者の負担増にもつながることから、契約事業者の理解を得ながら、検討を進めてまいります。

公共下水道事業

下水道使用料は、減少を見込んでおりますが、今後、企業債の発行額は低い水準で推移し、企業債残高は着実に減少していきます。

このことから、収益的収支は、今後も安定的に黒字を維持していくことが見込まれます。

現行の料金体系により、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業、それぞれの会計において、第2次ビジョン期間中の黒字を維持します。